

第76回 フリートークの会 2012年7月10日 出席者12名

- Aさん 私は術後3年と10か月経ちました。今のところ順調です。アリミデックスを飲んでいますが、ちょっと不眠症になったり腕にこわばりがあったくらいです。
- Bさん 私は8年くらい経ちます。5年くらいで再発して、ホルモン治療—お尻に注射するホルモン剤を使っています。それ打ってから食欲が増しちゃって体重増加が心配なところですよ。
- Cさん 私は今年の5月に手術をしたばかりです。痛みはないんですが腫れがあつて。Her-2 +2だったのがショックでした。でも主治医からは難治性じゃないからと慰められたんですが。今はフェマラを使っています。
- Dさん 今年の8月で術後2年になります。1月にPET検査をしたんですが、胸のところに悪性リンパ腫の疑いありという検査結果が出て、でもはっきりとした診断をつけるには開胸手術をしなければわからないということだったんですけど、そんなリスクの高い手術をして実は悪性リンパ腫じゃなかったら…ということもあって、主治医の先生はあまりやりたがらないんですね。でも私にすればこんなもやもやした状態にいるのは嫌だから何とかありませんかと相談してたんなんですが、主治医の紹介で〇〇病院の呼吸器外科で胸腔鏡の検査をしてもらったんです。そうしたら診断はサルコイドーシスというリンパの病気でした。悪性リンパ腫の心配なし、乳がんの転移もない、ということで、でもその病気は国の難病指定されている病気だそうで、ブドウ膜炎という症状が出る人が多いというんですが、私は今何の自覚症状も出てないんですね。今後はこの病気に関してはその〇〇病院の内科にかかって診ていただくことになりました。
- Eさん 術後8年になります。半年前から薬もやめています。
- Fさん 妻が2年前の卵巣がんを発症し、今年の4月に手術をしました。今は抗がん剤の治療を受けていますが、その副作用が年々ひどくなるような状態です。食事もとれず足のむくみがひどいんですね。主治医に「菊池がんクリニック」を紹介され、先月初めて受診しました。今日も妻は治療中で、待つ間こちらのフリートークの会に参加させていただきました。今日で治療3回目ですが、ずいぶん調子がよくなってきました。自分で少し歩けるようになりましたしね。もっと早くこちらにお世話になっていたら、こんなになることはなかったんじゃないかと思えますね。
- Gさん 今年の2月に子宮体がんの手術を受けました。1月の検診で見つかりました。同時に卵巣がんも見つかり手術をしました。今は抗がん剤治療を3週間に1回やっています。副作用が出ていて、痺れとか関節、筋肉の痛みなどが出ています。
- Hさん 昨年の4月に手術したんですが、リンパ廓清した後の引きつれが気になるのですが、これはもうしょうもないのでしょうかね。

Iさん 2006年に乳がんを発症しました。その後、骨転移してゾメタを服用。乳がんにはアロマシンを服用したところ奏効しがなくなりましたが、その後2009年に再発。手術を受けました。腫瘍マーカーが上がり、ゾラデックスを注射。骨転移が1ヶ所ありゾメタを飲んでます。私の場合進行乳がんなので、左リンパに飛んじゃっているのです。でも悪いことばかり考えてもしょうがないので、生きているうちにしっかり生きていこうと思って。「死にざま」なんてことを言いますが死んだら終わりですよ。死にざまじゃないですよ、「生きざま」ですよ。どんな生きざまを残すかってことが大事ですよ。

Jさん 術後25年、再発して18年になります。フェマーラの副作用がすごく辛かったんですけど薬を変えてからすっかり良くなって元気です。再発してますけど元気です。

Kさん 私は子宮体がんなんですけど、5年くらいして再発したんですね。こちらのクリニックに来るまでもう全国の病院を回ったっていうくらいたくさん病院を変わって。最初、子宮内膜症だと言われて、でもものすごく生理のたびに痛みがひどいもんですから、あちこち病院にいつ診てもらったんですけど…結局がんがあったんですね。

Lさん(Kさんのご主人) この人があんまり痛がるもんだからあちこの病院こっこの病院と回って…

Kさん もう行く病院がなくなっちゃった。先生、私の最期を看取っていただけますか？

院長 (笑)まだそんなこと言わなくても、全然大丈夫でしょう。これからですよ。

Kさん ホントに良くなって楽になってきたんですよ、おかげさまで。でもこちらで見放されたら行くところないから今のうちに言っておこうと思って。もうあちこちでケンカしちゃったりして…。

院長 最期までちゃんと診ますよ。でも僕も年だからこの先どうなるかわからない。(一同笑)

Fさん 私の妻もこちらに来てずいぶんよくなりました。先生、こちらのクリニックのような病院がもっと広く世間に知られてもいいんじゃないかと思うんですが、どうなのでしょう。

院長 こればかりは出会いというか、縁というか…運みたいなものもありますよね。がんになる人は今や人口の半分、ほとんどが40歳以上です。厚生労働省は、いつでもどこでも同じ医療が受けられるようにとやっていますが、それは地域をエリアに分けて拠点病院を作るだけなんです。その拠点病院には基準となる設備が整っているというだけ。大病院だからといってそこにいる医者がいい医者とは限らない。

Iさん 先生、医者立場から見ると、いい医者とはどんな医者ですか？

院長 一言で言うと、時間をかけて患者さんの話をよく聞いてくれる医者、ですかね。患者さんの顔

も見ないでパソコンばかり見ているようじゃだめですよ。自分ばかり話をして、知識をひけらかして患者さんの話を聞かない。治療方法を2つ3つ提示して患者さんに選ばせる。これとこれとこういう治療法がありますがどれがいいですか？なんていうのは医者職務を放棄した行為ですよ。患者さんが決められるわけないんだから、そこをこの患者さんにはこの治療法がよかろうと見極めてやっていくのが医者の務めじゃないでしょうかね。

D さん 私、この前ちょっと風邪をひいて、内科を受診したんですね。そしたらその内科の先生がまさにそういう先生で、パソコンをずっと操作してて私の顔をひとつも見ないんですね。それで「じゃ血液検査しますんで検査室へ」って言われて検査室へ行ったんですけど、そこで「さっきの先生、私の顔を一度も見ませんでしたよ。あんなんじゃちゃんとした病気の診断ができるとは思えないから、今日は検査しないで帰ります。」って言ったんですよ。そしたら院長先生が出てきて「すみませんでした。ちゃんと言っておきますので。今日は診察料はいただきませんので。」って言われましたけど… 診察料はちゃんと払ってきましたけどね。(笑)